

# 「新庁舎建設に関する地区別説明会」の質問・意見等の記録

## 【会場：札内南コミュニティセンター】

1	日 時	平成23年11月1日（火） 19:00～21:27
2	会 場	札内南コミュニティセンター 集会室
3	参 加 者	60人（ほか報道機関2人）
4	町出席者	町長、副町長、総務部長、企画室長、建設部長、札内支所長、企画室参事、企画室副主幹

### 住民

役場の耐震診断結果。震度6強の地震で倒壊又は崩壊の危険性が高いとの説明。この危険な庁舎で職員は働いている。また、住民も出入りをしている。

休庁日であれば、それほどでもないが、平日、日中に大規模な地震が発生した場合、町としてはどう考えているのか。

町が保有している建物もあるはず。町民会館や保健福祉センター、札内福祉センターなど…。全部一箇所に移転することは無理かもしれないが、分散して活用する町としての考えはないのか。

今の状態で、役場が崩壊したら、町の機能はどうなるのか。明日地震が発生したら、町の機能はどうなるのか。住民サービスはどうなるのか。

### 町

震度6強以上の強い地震が発生した場合には、現在の庁舎は危険である状況。今日か明日か、いつ地震が発生するかは分からないものであるが、他の施設で、分庁舎方式で事務を執ることにはならない厳しい状況であるが、何とか現庁舎の中で仕事を進めていくべきであろうと考えている。

災害はいつ発生するか分からない。こればかりは、地震が発生しないことを願っているところ。

### 住民

町としては、何も対策を練ってはいないということか。祈るだけか。我々だって地震が発生しないことは願っている。

### 町

例えば今回の東日本大震災の津波で、庁舎が流され、戸籍も全部流されるということもあった。こういった災害が発生したときの体制、対応といったことはすでに対策をとっている。

災害発生時においても、現庁舎において住民の皆様に迷惑を掛けることがないように、これからも考えていかなければならない。

### 住民

日中、職員が仕事をしているとき、町民が役場にいるときは、生き埋めになることも考えられる。

町長はそういう考えかもしれないが、職員や町民は誰一人として、生き埋めになることを望んでいない。

そうなったときに、町ではどうするのか。職員の家族や町民に対しどうするのか。建物（役場）にいる人をどうするのか。人が命を落とした場合、町はどう責任を取るのか。祈るだけでは誰でもできる。

町

災害の発生時、ケースバイケースで対応していかななくてはならない。

住民

だから、もし、そうなったとき（死亡者がでたとき）はどうするのか。

町

その時には、それなりの対応をすることになるが、今の段階でどうする、こうするという事にはならない。

住民

その時になって、考えるのか。考えていないとおかしい。対策を練っていないとおかしい。

町

いつ地震が起きて、誰かが怪我して、誰かが死んで、どんな状況になるかということのを想定した対策というのは、現在我々としては考えていない。

当然、そういったことがあれば、もちろん、町として対応していくことは当然だが、今の段階でそこまで想定した対策というのは持ち合わせていない。

住民

他の方も色々と思意見があると思うので、この辺にしておきたいが、前の説明会で誰かも言っていたが、とても今の役場には出入りができない。

町

一つ補足。耐震診断の結果は、確かに耐震度が低いという結果であったが、それが即、危険建物の指定になるものではない。

震度6強以上の地震が発生した場合には、倒壊の恐れがあるということで、新庁舎の建設に向けて提案させていただき、皆様からの意見をいただきたいという説明会であるので、この点、ご了承願いたい。

住民

耐震構造に問題があるとのことだが、単に昭和56年以前の（基準に）工法に問題があったということなのか。それとも、立地条件に問題があったのか。このあたりの検証はどうしているのか。

町

現在の庁舎は、昭和47年に建設したものであるため、当時の建築基準法に基づいた、構造的な計算がされた中で北海道の許可をもらって建設したもの。

昭和56年に新しい基準、現行の基準になっており、現在はその旧基準ではない。

住民

幕別町で一番の（札内は）住宅率があり誇りに思っている。庁舎と同じ時期に建設された2階建て住宅が他にもあると思うが、昭和56年以前の建築工法は、やはり問題があるのか。調査はしているのか。

町

おっしゃるとおり、町内には住宅など様々な大きさの建物がある。平成18年に耐震化に関す

る法律ができ、昭和56年以前の一般住宅が多くあるので、こういった住宅の耐震化をどのようにしていく、あるいは、公共の施設をどうしていくか計画をもって進めてきたところ。

公共施設については、先ず学校を優先して耐震化を図っていこうということで、一定の目途が立ったことから、庁舎のあり方を次に検討したところ。

一般住宅についても、古い建物があることから、現在の幕別町の計画としては、平成27年度までに90%の一般住宅についても耐震化が図られるよう進めていきたいと考えている。木造住宅については、無料の耐震診断を実施しているので、是非利用していただきたいと考えている。

## 住民

昭和47年7月に建設した庁舎。RC造は耐用年数50年。大きな地震があったため平成16年に耐震診断を実施とのこと。

現在のIs値からすると、今すぐに引越をしなければならない状況。極めて危険であるとの数値。

自分なりに文献で調べてみて、Is値と大地震の被害比較では、Is値0.6以上で小破(しょうは)、0.4~0.6の間は中破、0.4以下の建物の多くは、倒壊又は大破と言われている。つまり大地震が発生した場合、現庁舎は倒れる危険性が高いということに。

耐震性の悪い条件も調べてみた。①平面形状が不形成である。②壁配置に偏りがある。③ピロティがある。④地形・地質が極めて悪いこと。⑤コンクリート強度の問題。⑥老朽化の進んだ建物とある。

庁舎は老朽化ではない。築後30数年なので、少なくとも③、④、⑤などの問題が挙げられるが、診断をしたときにこの辺の指摘があったはず。

で、また同じ場所に建設しようとしている。地形・地質の状況から私としては納得がいかない。

どうしても、その場所が町が最適だとするならば、なんとか3,000㎡以下で木造の2階、3階建てという工夫はないのかどうなのか。

RCの耐用年数で50年。木造だと耐用年数が24年。これは24年でも30年位はもつのが多いそうである。従って、そういった工夫をして、質素なものを建てて、またその時期が来たら、考えればよいのでは。そういった方向を何故執らないのか不思議である。

委託先の岡田設計からそういった指摘がなかったのかどうか。今の工法なら(現庁舎敷地でも)建つことは建つ。しかし、かなり杭を打って強度を保たなければRCは持たない。

建築基準法の改正は遅い。そんなに頻繁に変わるものではない。だから50年先のことなんて、全く分からない。なのに50年(RC造)に何故拘るのか。

建物は立派でシンボルということにはならない。質素なもので、コストダウンをし、耐久性のあるものを工夫して考えるべきと思うが。

職員一人当たりの事務室スペースは4.5㎡とか、会議室は7㎡とか、色々言われているが、それは基準であって、絶対にそうあるべきものではないと思うが如何か。

## 町

岡田設計に委託した検討業務結果は、概要として皆様にお示し(資料1)しているが、実際には(成果品を掲げて)こういうもの。当時、昭和46、47年に庁舎を建設した際の設計業者も岡田設計でもある。

現庁舎は、東西に長い庁舎で南側はピロティで壁がない構造。当時の建築基準に基づいて設計し、耐震基準も当然クリアしているもの。杭も最長で6m、支持層まで打って耐震性を確保している。

総合判定としては、『全体的には耐震壁が少なく、耐震要素の靱性が小さいこと、東西方向について偏芯が大きいこと、震災により耐震壁が損傷していることが、耐震指標を低くしている大きな要因である。』というもの。

建設当時は、当時の基準に基づいて、ピロティはあるが、建築基準法をクリアした上で、杭

工事6mの施しなどをしているということ。

それと、3,000㎡以下にという話だが、最近の新しい庁舎では、幕別町役場はいわゆる教室スタイルだが、昨今の建設事例ではオープンフロアで廊下も広い。町の役場庁舎は、例えば3階などは遮断されていて箱状。住民の方々が来庁しても入りづらい状況にある。

仮に、保健福祉センターの3課や教育委員会を庁舎に置かないとしても、現状の庁舎面積が3,820㎡であり、決して余裕のある広さとは我々は捉えていないので、3,000㎡以下というのは現実的には厳しい状況かと。

これから50年、60年と使用することを考えると、分庁舎ではなく1箇所にとまっていた方が良いとの考え方で案としたもの。

本庁集約型という考え方になると、尚更3,000㎡以下という現実性は困難と考える。

#### 町

地質・地形の問題について。どこに庁舎を建設しようとも、地質調査を行った上で建設し、現在の建築基準に基づき、北海道の許可を得て行うこととなる。

建設候補地については、現在調査は行っていないが、建設する場合は基礎を打って建てるということになる。

ちなみに、現在の状況を見ると、現庁舎が6mの杭を支持層まで打っている。札内東コミセンの場所は地層として良い場所であり、1.5mの直接基礎ということで建てている。百年記念ホールは、千住川があり支持層が深いこともあり8mから10m。構造物の高さによっても深さは変わってくるものであるが、現状としてはこのような状況に。

いずれにしても、調査を行った上で、安全な建物を建設していくということには変わりはないと考えている。

#### 住民

現庁舎の杭は何本打っているのか。

#### 町

資料を持ち合わせていない。(実際は基礎数29箇所、杭本数253本)

#### 住民

基本方針(案)の6ページに、新庁舎の建設位置は「現庁舎敷地に選定」とある。説明会と聞いて来たのに、これは説明会じゃない。

あちこちで説明会を開催して、意見を聞いて決めるのであれば分かるが、既に(建設場所が)決まっているのではないか。こんな馬鹿げた説明会があるか。これが1点。

次には、赤字財政の中で、何のために箱モノを造るのか。必要なのか。23億。ひょっとしたら30億近くになる。であるなら、池田町の庁舎のように3階建てで良いのではないか。木造3階建てで良い。

#### 町

「現庁舎敷地に選定」とは、役場側の方針(案)を示した中での提案であって、決定してものではない。

これはたたき台であるから、決定したものではない。

#### 住民

常識から言ったら、人口の多いところに庁舎があるのが当たり前。町は一体何を考えているのか。

笑ってしまうのは、広報にはシンボルとある。緑町には猫すら歩いていない。(本町側)パークゴルフ場?、札内にだって一杯パークゴルフ場がある。

なんで、人口7割いる札内を無視して、このような案が出てくるのか。おかしくはないか。

#### 町

そういうご意見をいただくのが今日の説明会。皆様の意見として伺いたと考えている。

それと、幕別町は決して赤字ではなく、財政的には黒字で推移しているの、その点はご理解をいただきたい。

#### 町

我々も、好き好んで役場庁舎を造りたいということではないが、先程来から申し上げているとおり、庁舎の問題については、何十年に1回の大事業である。

あのような耐震診断の結果が出た以上は、やらざるを得ないだろうと。必要があるだろうという思いである。

建設場所を検討するに当たっては、札内地区の皆さんが人口の多い札内に庁舎をもってくるのは当たり前だろうと、こういう考えがあることは我々も十分承知している。

しかし、私どもは町全体を考える。あるいは、町の歴史やこれからのまちづくりを進める上での均衡ある発展を考えるときには、今ある庁舎を札内にもってきた場合には、幕別本町地域を衰退させてしまうのではないかと。

もちろん、庁舎が（札内に）動いたからといって、急激に衰退するようなことはないかもしれないが、幕別町の歴史の中では、本町地域に行政の中心があった訳である。

札内も人口が増加し、住宅も広がって、マチも大きくなった。大型商業施設もできたし、老人福祉施設もあって、住み良い地域、利便性が高いということで、多くの方が住んでいただいているのだろうと思う。

そういった意味で、役場を札内という要望も十分我々も承知はしているつもりではあるが、幕別の歴史の中からも、幕別の行政の中心、消防本部があったり、商工会の本部などが集積されている、あるいは、幕別が東部、南部との連絡中心地的な位置にあって、なんとか、札内住民のご理解をいただけるのであれば、私どもは、本町に引き続き庁舎を建設したい。という思いで、原案を出させていただいた。

色んなご意見があるのだろうと思うので、そういった事を踏まえながら、これから更に検討させていただきたいと考えている。

#### 住民

幕別町は、災害でいうと津波はないが、水害。地震もある。札内川が決壊し洪水になった場合に、対応面で札内で対応ができるのかということ。川が決壊した場合にすぐに対応できるのか。

#### 町

その場合、庁舎がどこにあるのかの問題ではなく、役場がどう動くか、どう災害対応していくかということになる。

現状において、十勝川、札内川の氾濫に対する対応策は防災計画としてもっている。対策はある。

#### 住民

幕別町には、幕別町耐震改修促進計画というものが平成21年3月に策定されている。町が作っている。

その中に、想定される地震の揺れというものがある。その項目の中に↓こう書いてある。

	想定される地震	マグニチュード	本町	札内青葉町	忠類錦町
1	十勝沖・釧路沖の地震	8.2	5.7 (6弱)	5.6 (6弱)	5.6 (6弱)
2	十勝平野断層帯主部の地震	8.0	6.8 (7)	6.5 (7)	6.2 (6強)
3	全国どこでも起こりうる直下の地震	6.9	6.2 (6強)	6.1 (6強)	5.8 (6弱)

これを見ると、本町は他の地域に比べて震度が高くなっている。その次のページには見づらい地図（揺れやすさマップ）があるが、幕別の本町が一番強い揺れの震度7を示している。

本町が揺れやすいことが想定されている中で、敢えて、承知の上で本町に庁舎を建設することが理解できない。説明願いたい。

#### 町

昨年全戸配布した「幕別町防災のしおり」はカラー刷りでマップを掲載しているが、幕別と札内の間、稲士別のあたりに活断層がある。それに端を発した揺れやすさマップだが、確かに幕別の市街、札内の東側は同じ震度7と想定している。そこを境にした札内の西側が震度6強。

建物被害想定マップでは、活断層のあたりなので幕別と札内の中間が建物被害率としては80%と高く、幕別市街と札内市街の東側は60~80%。札内の西側は更に低くて20~40%という状況になっている。

#### 住民

結論は、想定が同じということか。

#### 町

揺れやすさマップとしてはこういう想定だが、建設候補地として何故幕別本町を選んだのかということは、町長が申し上げたとおり、幕別町全体の地域を考えたもの。現庁舎は耐震性には優れていない訳だから、新庁舎はもちろん耐震性が優れたものと考えている。ただ、具体的な耐震、免震の工法については、今後検討していく考えである。

#### 住民

耐震性の目標値。構造耐震判断指標のIso値0.75とは、震度何に相当するものなのか。

#### 町

国土交通省が示しているのは、震度6強以上の地震に対して0.6以上ある場合には倒壊又は崩壊の危険性が低いということ。更にもその建物が防災拠点などである場合には、0.6ではなく0.75をクリアするよう目標値として示されているものである。

ですから、0.75にした場合にどの程度の地震に耐えうるのかについては、国から示されていない。

#### 住民

それが分からないのであれば、設計上、矛盾が出ではこないか。

庁舎は50年使える。現庁舎はあと10年くらい耐用年数が残っている。

今の説明のように分からない状況で、新庁舎を造りますと言われても、非常に矛盾した話で、これから話が進まないのでは。

#### 町

現在の基準では、大規模地震の震度6から7程度に対して、人命に被害を及ぼすような、倒壊のような被害を生じさせないことを目標にしている。

これが、国土交通省の基準であって、あくまでも、地震に対して倒壊の危険性がない、基準を保つように、建築基準法を定めている。

#### 住民

0.75は、倒壊しないのか。これが基準か。

## 町

資料1の5ページ下段。役場本庁舎は、被災応急対策活動施設に位置付けられることから、用途指標の係数を1.25補正し、0.75としている。 $0.6 \times 1.25 = 0.75$ 。

## 住民

小中学校の耐震化が終了したとの説明が先程あった。学校の耐震化の基準は国交省より低い。耐震改修の目安として0.7未満であるから、0.7以上なければならないとしている。

実際の耐震工事の結果については、幕別小学校が0.71、北小学校0.71、0.7を超えているものが3校ある。

防災計画上の住民の避難場所というのは、(庁舎と学校は)同程度のものと解釈していたが、今の説明を聞くと防災拠点(役場)のほうが数値が高く、住民の避難場所は数値が低いということに。そう解釈して良いか。

## 町

学校の場合は文部科学省が耐震基準を定めているが、一般的な0.6よりも学校は避難場所などに活用されることが多いので、0.7を上回るように耐震補強を行うようにとされている。このため、本町においても、学校については0.7を上回るよう改修をしたところ。

## 住民

町長。物事の進め方。順序。何かおかしい。住民説明会が何故今日なのかよく分からない。

この(庁舎)固定資産を取得する場合には、将来町民が負担をしていくことになる。

こういうことに対するモノの進め方は、やはり町民の意思を上手に汲み取らないと、怒りや不満が爆発して、協力しようともそれができなくなる。

これからでも、まだ間に合う。住民の意思をアンケートで頂くなり、あるいは、この説明会のように何回も開催するとか、幕別の行政を進めていくために公区制を敷いているので、公区長の意見を徴するとか、きめ細かくやるべき。

聞くとところによると、議会の特別委員会では7回の会合があつて、検討されているそうであるが、議会は議会として検討すべきだが、その前に住民に対して懇切丁寧に説明をして、住民に対する負担をお願いすることが基本と思う。

そうでないと、まとまるモノもまとまらなくなる。よろしくお願ひしたい。

それからもう一つ。問題なのは、町長、町村合併は何のためにやったのか。今日の幕別、札内、忠類の三極分化は、当然進むと。それでも敢えて、住民のために町村合併したほうが良いとの判断。

確かに、合併特例債を使って庁舎を建設することは、分からない訳ではないけれども、基本的な幕別町民を安心・安全で豊かにしていくマチにしていける、そのための町村合併というものを、どのくらいの労力を掛けてやったのか。

あの時に立ち返って見たときに、人口密度から言ったら、何故本町に23億もの金を掛けて庁舎を建設するのか。

札内地区の住民にはとても理解ができない。町長はそれを十分に分かっている中で、本町に庁舎を建てようとしている。地盤の悪いところに…。しかも、本町の人がいっているが、交通が不便なところに。違う方向で再考したら如何か。

それを、公平対等な立場で、住民から十分意見を吸い上げる。このことが、大切と思う。

一説によると、議会の特別委員会は住民を代表しているので、それで良いじゃないかと。住民を代表しているからと。こんなことを言っているのであれば、とんでもない。本末転倒である。

説明を受けた資料。全部は理解できない。1時間か1時間半ではとても無理。会場の机も用意していない。書くこともできない。如何に住民を愚弄しているかということ。

町長の町政、行政執行姿勢は、町民を愚弄している。そう言いたい。本当に情けない。住民本位の行政のやり方であるならば、やり方、方法が違う。

札内の住民は、幕別町に不満がある。もしも、札内地区が帯広市に編入させてもらうことになったら、23億の建物をどうする。

本当に札内の西札内地区のみんなは、役場の進め方、考え方が大反対。このことを十分踏まえて、2万人の札内地区の住民が理解できるよう、時間をかけて検討を。その間の耐震の問題はあるが、5億とかかけて補強すれば良い。

札内の行政サービスは、防災、福祉、医療の全てのことについては、札内支所を拡充し、住民サービスに努めていくことが本来の姿。

役場の「やり方」の問題を再考していただくことをお願いして、私の意見とする。

#### 町

ご意見として伺わせていただく。

#### 住民

説明会は2度目の出席。全体像が見えてきた。私の考えを。

耐震化の工事。これはメリットがないと理解した。合併特例債は、交付税措置が70%ということで約束がされているのであれば、有効に活用すべきと思うし、町民の負担を抑えることができる。

それから、分庁舎方式。私は郵便局に勤めていて、分庁舎ではないが、事業が分割されて、非常にやりづらく、効率が悪くなった。身をもって体験した。分庁舎方式で建設しないということは賢明な判断だと思う。これはやってみた者にしか分からない。

しかし、最後まで分からないのは、何故本町に本庁舎を建設しなければならないのかということ。

役場行政はサービス産業である。サービス産業というのは、サービスを受ける人が多いところに重点を置くのが当たり前の話。圧倒的に札内の人口が多いのに…。そこに庁舎を建設しないで、拠点を置かないで、何が住民サービスなのだろうか。よくわからない。

どこに建設しようとしても、引っ張り合いになるし凝りが残る。幕別の人間は幕別にと、札内の人間は札内となる。利害のある我々が決めようとしても、すっきりとした結論は出ない。議員も利害関係の固まりのようなものである…。

百歩譲って、我々が決めるのではなく、都市づくりの専門家や大学教授などの第三者的な立場の方に、条件を全部提示して、諮問してはどうか。これで恨みっこ無し。これを提案したい。

#### 町

ご提案として伺わせていただく。

#### 住民

私もこの説明会は2回目。ちょっとおかしなと思うのは、町の職員は理念がない。さっぱりない。

議会もそうである。ホントに寂しい限り。議会の傍聴席も鉄の椅子。議員や幹部職員のはしっかりした椅子。差別している。

新庁舎の関係も企画室で全部やっているが、何故町民に出向いて出前講座をしないのか。受けて立つだけで、自ら情報の発信をしていない。

設計（耐震化検討業務委託）にしても、2社3社や大学教授に何故やらせないのか。見方が変わってくるはず。業者と癒着があるのでは。

分庁舎方式の陳情は不採択。賛成者は1人の先生。費用対効果でダメと…。人口7割いる札内住民の意見の方が強いのに、議会では反対された。茶番劇。

住民の費用対効果を考えず、自分たちだけの費用対効果の中で考えている。



私がモクト（目途）とするは、原点に返って基本に忠実ということ。

忠類をもっと活性化させるために何をやっているのか。伊達市の大滝区に大きなトレイの駐車場があり多く利用されている。そういうのを忠類に造ってはどうか。（忠類の道の駅は）チマチマしたトイレで汚い。そこにお金を使う。発展させていくことが大切。特例債を20億も使うのであれば、5億で新しいモノ（トイレ？）を造るべき。企画室にはそういった発想がない。

職員は、町民と会って、意見を聞く。これが基本。

## 住民

防災について。11月の広報。地区別説明会の内容で、札内の防災対策・危機管理体制について「防災対策は平常時においても重要であるが、そのために人口の多いところに多く職員を配置することにはならない」とある。

これは非常に矛盾している。防災に対して考慮していないと言える。防災体制は本庁一箇所になっていて、大災害があった時は、先ず本庁に集合し、それから札内の対策を検討すると。これでは公区の自主防災組織だけで対応しなさいということか。本町から札内まで10kmある。途中には橋があり、川が氾濫していたらどうするのか。せめて忠類総合支所程度の組織を考えて欲しい。

## 町

災害内容、場所によっても変わるが、職員を役場に招集するのは主に幹部職員である。全職員ではない。自宅待機となる。本部からの指示待ちの体制を執るようになっている。

ですから、どこに庁舎があるかが問題ではなく、防災体制としてどのように機能させるかということになる。

基本にあるのは、どこか1箇所に集まって、全体の状況を把握した上でないと活動ができないことから、庁舎がどこにあるかではなく防災は防災として機能させていく。

防災計画としても、南コミセンは避難場所であるが、各課の各係に担当避難場所を指定し対応することになっており、どこに庁舎があろうとも防災（救援）対策は同じように行われる。

## 住民

今の話は、かなり詭弁。

例えば、対策本部が本町にあって、人口の70%いる札内では、組織もまだ未完成。支所を拡充していくということは完成していないということ。

その時に、指揮命令する者は本町にいる。そこはどうやってやるのか。簡単なのは、近い方が情報伝達が早い。体制について何も必要ないとの言い方にはならない。

人口の70%が札内にいる。これは純然たる事実。数千人の方が他の地域にいる。札内の住民は単純に思っている。職員が7人しか置かれていない。何かするたびに本庁まで行かなければならないと。単純である。しかしこれが非常に大事。

町は、基本方針（案）をただき台と言っているが、議会はそう思っているのか。聞くところによるとそうではないらしい。この説明会はアリバイづくりでしかない。

そのために、住民を集めて話をしているのであれば、非常に馬鹿にされているということになる。

現庁舎敷地を選定した理由として色々あるが、利便性について。鉄道、バスの交通事情の優位性があると。全然お話にならない。特急に乗るには札内の方が帯広駅に近い。バスだって沢山走っている。

郵便局、森林組合の集積と。都合の良いところばかり記載している。総合振興局、法務局、財務局、帯広警察署は、札内の方が近いではないか。全く理由にならない。

地質だって、川の側だから問題があるといえば問題がある。それから均衡ある発展とあるが、今の本町をどうしていくかという、マスタープランがあるのか。それもなくて、ただ「均衡ある発展」と。

一番根底にあるのは、札内の人達が「何で俺たちが…」(我慢)。これが原点。

議会の議員を選んだのは、確かに私達。だけどよく分からないので、鉛筆転がして投票しているようなもの。反省はしないとイケないが。

簡単に考えて素朴に疑問に思い始めた。住民の公平性や福祉の公平と言うが、当然町全体の公共サービスの70%は札内になくってはならない。単純なこと。ここに一番の疑問を感じている。職員の数にしても10%に満たない数の職員しか置いていない。ここに問題がある。

本町をどうするとか、忠類、札内をどうするというビジョンがなければ、役場庁舎は全体に利害が伴うものだから、その利害がぶつかり合う。

民主主義の世界から言えば、札内が70%であるから(庁舎建設場所を勝ち?)取れるはずだ。そうでなければならぬ。多数決をすればそうなる。そういった手法で調整していくことができるとは思わないが。

この点も踏まえて、行政も考え、議会も町民の意思を受けて考えていかないとこの問題はまとまらない。この辺しっかり考えてやって欲しい。

## 住民

今日はこれで2度目。私が見る限り、理事者側はあざ笑っているように見える。結論から言うと、結果同じような形で本町に庁舎が建つであろうと。

なぜかと言うと、この検討経過を見て、相当前から検討している。町長選挙以降にこの問題が提起された。少なくとも、本当に方針(案)を変更し直すということであれば、皆さんの声をもっと聞くべきだが、非常にしらけて見える。

提案する側はプロ。我々住民は直感。冬の除雪もろくに出来ない、町のゴミ捨て場も大変な状況になっている。音更のように回収して欲しい。

そういう住民サービスをやって、その上で町が町民に理解をお願いすべき。町長は4年経ったら辞める。職員はそういう訳にはいかない。このままいったら、大変なことが起きるかもしれない。脅しではない。

私は今日までに、若い女性など100人に面接してきた。ホントに怒り心頭。だけど会場には私と同じく大体が高齢の方。若い方はこういう場に出てこない。

もう既に結論は出ている。「総合的に判断した結果、現庁舎を耐震補強工事をすのではなく、新庁舎の建設が最良であるとの結論に達しました」とある。町長、これを変える自信はあるか。何故ここまで断言するのか。

いくらでも、町民の声を聞く方法はある。敢えて避けているのではないか。形式的に町民の意見を聞いて、これでもし終わったなら、町民を愚弄している。あなた方は(町民の)「上」ではない。間違わないで欲しい。

町長、人間自分の見方だと思っていたって、そうでない方もいる。理事者側の中にまで。

我々は耐えている。金がないから、金がないからと言うから。何で庁舎だけ建つのか。建てるべきときは建てるべき。しかし、その進め方を考え直すべき。

困った時だけの形式的な説明会で、普段こういうものがあるか。

理屈を付けて3極化している中間点と。コンパスでも当てたのか。笑い事。

もう少し、真摯に町民に提起するべき。町民に真摯に。願うのは、もう少し時間をかけて欲しいということ。

## 町

貴重な意見。

## 住民

初めて参加したが、少しは理解できた。

今日お集まりの皆さんにお願い。この場で結論めいたことを皆さんで協議をして、町長にお願いしたら良いと思う。

住民の怒りというか、不信というか、この町の進め方について、もう一度再考をお願いします。そのために、住民アンケートの仕組みを、町長、考えていただきたい。アンケートの内容も役場を作るのではなくて、住民の方も参加できるような仕組みで、町民の意思を確認するアンケート方式を実施しては如何か。

今日の結論は、是非、町長の胸に収めて、今日の説明会が無駄でなかったとなるよう、住民の方の言うことは本当なんだというようなやり方を作って欲しい。作れない場合は、住民、公区長を中心として協議する。

もう一回、方向的にやり方を見直しては如何か。町長の考え方も変わったと思う。住民の意思を聞けるような仕組みはいくらでも創れる。どうか、今日の住民の説明会の総意として受けとめて、(アンケートなど) 実施していただくようお願いする。

**町**

色んな意見を頂いた。この原案は役場庁舎内の内部で検討したもの。あくまでも住民皆様の意見を聞くためのたたき台として、議会にも渡しているし、皆様にもこの説明会でお配りしたもの。決定したものではないので、アンケートや更なる説明会の開催など、説明会が終了した後には、十分検討させていただきながら、ご相談をしながら進めていきたいと考えている。

**住民**

(説明会に) 議長は出席しないのか。

**町**

議員の方も何人か参加されているが、議員の立場で参加されているのかどうかは私どもは判断できない。

**住民**

24日の説明会にも参加。その時に、町長は説明会が終わった段階で、今後、どういう取組が良いのか検討すると話した。今もそう話した。

これから半世紀は使用する庁舎であるから、十分に町民の合意が得られるような取組、状況を創らなければならない。これは町長の責任。

町民に凝りを残してはならない。場所の取り合いになってはならないので、配慮をした対応を心からお願いしたい。

**住民**

公区長に案内して何故参加を呼び掛けなかったのか。公区長は公区の代表だから、公区内でも検討してくれるはず。

公区長に知らせて、内部で決定させて進めていってはどうか。

**住民**

不満に思っている方が沢山いるようだ。各市町村の事例では、非常に独断と偏見でやっているところと民主的にやっているところがある。

非常に独断と偏見でやっているところは、町長の意見で変わる。政治主導である。政治主導のマチは発展しない。

良いところは、有識者を集めて、練ってもらって、町に答申する形をとっている。町も町で精査し進めていく。

議会は最後。議会が最初に出てきては、住民は諦めてしまう。住民の住民による住民のための政治をやっていただきたい。

**住民**

各地で開催した説明会の内容・結果、幕別町の住民の生の声が知りたい。広報だけでは通じてこない。他の会場であった住民の生の声を知る何か方策はないものか。

**町**

今月号の広報に10月開催分の内容を載せさせていただいた。同じように12月号にも掲載する。その他にこういった手法がとれるかは、勉強させていただきたいと思うので、ご了解いただきたい。

**住民**

11月4日に説明会が終わるので、4日は町民の意見をある程度まとめて、今後こういった方向で庁舎のあり方を検討していくのか聞かせていただけるとありがたい。

(了)